



香美史探訪記

第50回 岩改村誕生と氏神 (香北町岩改)

鎌倉時代に幕府の基本法とされる御成敗式目が制定され、神社・仏寺を大切に、信仰の心をもつことが制定され、室町幕府もこれを基本法とした。新しく地域を拓き名を作り、村に発展し氏神と寺院が祀られた。

当時岩改村は、大忍庄に属し、名主が支配したが、長宗我部氏が土佐一国を治めると名田が召し上げられて、家来の水田加兵衛に給地された。

1800年頃調査した南路志にはこうある。「牛頭天王・ミヤノナル…。棟札に岩改村牛頭天皇。天正8年9月19日、本願 山田佐野平泉坊主 ○別當 恵日寺、神主西川村甚太夫」

蕪生一統記では「古に佐岡村より勧請し、古い時代に佐岡村大平か中後入（現在須賀神社鎮座）から入植し、岩改川沿い5町4反余り拓き、岩改名ができ氏神須賀神社を南岩改字針ノ木の山頂に祀られいつの時代か現在の宮ノ本に遷座された」とある。長宗我部地検帳に載せられた田は山内時代には本田と



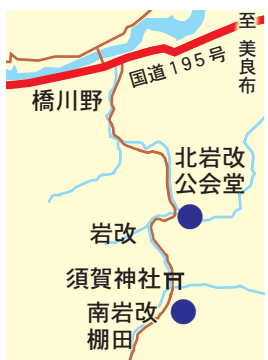
須賀神社

いわれ、特に重要視され、土地の永代売買を禁止してこれを保護した。元禄地払帳では原氏の知行地※である。岩改の米は、藩主へ献上されるほどの美味で、蕪生米の起こりとなったという。1700年の調べでは新田は19町2反余り。現在南岩改で見られる石垣のある棚田であり、美しい景観を遺している。各地の適地はほとんど水田化されたが、現在は植林の中に石垣が遺っている。用水路はその谷や別の谷から等高線に沿って付けられ、始めは岩を残し、小さい区画の水田であったようである。長年かけて岩を割り、その石で高さ2mを超す堅固な野積の石垣が築かれている。岩の跡地は耕地となり、まさに一石二鳥である。



南岩改の棚田

拓きといわれる棚田造りは何代も受け継がれている。ある者が西の方へ旅をし、石割用の大鋸を購入し、帰る途中、お城下で安政の地震(1854)に遭遇したが、岩改まで持って帰ったという。田拓きへの熱意がわかる。(香美史談会) ※知行、俸禄で土地を与えられ農民から米を受け取る。岩改村本田は54反。



か現在の宮ノ本に遷座された」とある。長宗我部地検帳に載せられた田は山内時代には本田と



私とは今年4月に香美市へ来ました。高知工科大学大学院博士後期課程基盤工学専攻1年生です。コンクリート工学で博士号取得を目指しています。趣味は旅行と写真です。

私の故郷、バツタンパンを紹介します。まず、地理と気候についてお話しします。バツタンパンはプノンペンの西291キロ、バスで6時間間の所にあります。バツタンパンはカンボジアで一番気候がいいです。6月と7月に雨がが多いのは高知に似ていて、1月は涼しく、4月は暑くなります。稲がよく育つのでバツタンパンはカンボジアの米どころとして知られています。

次に観光について紹介します。穀倉バツタンパン平原

ただいま留学中 (76)

ラスソバンサチャ (カンボジアバツタンパン)

を見下ろす山々からの絶景、歴史ある山寺、サンカー川沿いの仏教寺と町並みがきれいです。バツタンパンを流れるサンカー川はいろいろな文化を育てました。サンカー川についての詩、小説、映画、歌などが作られ、人気があります。そしてこれらの表現者・詩人・小説家・映画人・歌手はカンボジアを代表する文化人です。

最後においしい食べ物についてですが、バツタンパンはおいしい食べ物産地としても有名で、『香り米』はとてもおいしいお米です。世界一おいしいといわれる緑色のみかんも有名。バツタンパン特製デザートは特に有名です。

私はこれから2年半香美市にいます。どうぞよろしくお祈りします。



▲土佐山田まつりで顔合わせした積丹町広報担当(左)とパシャリ

市民のひろば

掲示板

◆レインボーコンサート
2013
【日時】10月6日(日)
13時~15時30分
【場所】高知工科大学講堂
【演奏】
・陸上自衛隊第14音楽隊
・高知工科大学吹奏楽部
・鏡野中学校吹奏楽部
【主催】
高知県防衛協会香美支部
※入場無料。満席で、入場
茶屋駐車場

◆親子さかな釣り大会
美しい自然の中で、さかな釣りを楽しもう！
【日時】9月15日(日) 8時~14時(小雨決行)
【集合場所】べふ峡もみじ
茶屋駐車場
【問い合わせ先】
高知県防衛協会香美支部
支部長 西山 武
事務局 宮地
☎53・4181
☎090・5274・3331

【対象】小学生とその保護者(小学生のみは不可)
【参加費】一人千円
【申込方法】氏名・年齢・住所・連絡先を記入の上、FAXまたはEメールでお申し込みください。
【締切】9月10日(火)
【問い合わせ・申込先】
クラブ香美ING事務局
☎53・4461
FAX 53・7178
club-coming@ivy.ocn.ne.jp

おたんじょうびおめでとう

今月満1~3歳の誕生日を迎えるお子さんをご紹介します。



掲載を希望される方を募集しています。詳細はお問い合わせください。申し込みは誕生月の前月1日まで。
☎ 総務課 ☎53-3112



(山田高校マンガ部)

まちの声

◆縁の下の力持ち
今年も土佐山田まつりへ足を運び、華やか、かつ楽しい踊りを堪能しました。締めの花火には感嘆の声を上げて見たことでした。今回花火を上げた後、その包み紙や導火線等が大量に落ちてくるため、後片付けをする必要があることを知り、驚きました。舞台裏を支える人あつての祭りということを実感しました。

この後片付けに、数年前から白ゆりを利用して障害者の皆さんもボランティアとして加わり、汗を流しているの聞ききました。できることに一生懸命取り組む姿勢を持ち、祭りの縁の下の力持ちになってくれることに感動した今年の土佐山田まつりでした。

編集後記

▼土佐山田まつりにカメラマンとして参加した積丹町の広報担当と広報香美とは深いつながりが。先月号では表紙や姉妹都市交流だよりにYOSAKOIソーラン祭りや、積丹ソーラン味覚祭りの写真を掲載しましたが、私は行っていませんでした。写真は積丹町の広報担当が撮ってくれたものです。実は、こんなところでも姉妹都市の協力関係があるんです。(細木)